

## 第4章 実施事業について

### 1 実施事業の選定

現状の実施事業や目標を達成するのに必要な実施事業を選定します。  
「強化」とした事業については、優先度を高めて事業を実施するものとします。

#### ■目標達成のために必要な事業

	目標項目	目標達成のために必要な事業	
1-①	本市の実態把握・普及啓発	被保険者を支える体制に向けた庁内連携の促進	強化
1-②	特定健診・特定保健指導受診率向上対策	受診勧奨事業（特定健診）	強化
		連続受診向上事業	
		国保セット健診	
		4市特定健診等受診率向上キャンペーン	
1-③	がん検診受診率向上対策	受診勧奨事業（がん検診）	強化
		国保セット健診（再掲）	
		4市特定健診等受診率向上キャンペーン（再掲）	
2-①	生活習慣病予防対策	特定保健指導	強化
		おいしく減塩！「減らソルト」プロジェクト事業	新規
		健康寿命のばしマッスル事業	
		情報提供事業（健診結果）	
		健康講座	
		食育の推進	
		個別相談	
2-②	重症化予防対策	生活習慣病重症化予防対策事業	強化
		運動教室（非肥満国保リスク保有者）	強化
		節酒支援プログラム	
2-③	医療費の削減・適正化対策	重複頻回訪問	強化
		COPD（慢性閉塞性肺疾患）対策事業	新規
		ジェネリック医薬品の普及啓発	
3-①	介護予防対策	介護予防普及啓発事業	強化
		短期集中予防サービスC（通所・訪問）	強化
		いろは百歳体操活動支援	強化
		フットケア事業	新規
4-①	こころの健康づくり対策	個別相談	強化
		精神障がい者への支援	
		こころの健康づくり啓発	

## 2 実施事業の内容

本計画に位置づける各保健事業の概要、目標及びスケジュールを以下のとおり定めます。

目標項目・実施事業		事業概要	対象	評価方法	実施体制	実施場所
1 生活習慣・健康状態の把握	① 本市の実態把握・普及啓発					
	被保険者を支える体制に向けた庁内連携の促進	強化	保健・衛生・国保部門及び介護・福祉部門と連携することで、実態に即した事業計画、事業改善を行い、医療保険制度の切れ目が支援の切れ目とならないよう制度間の連携を意識した保険事業を展開する。	—	連携会議回数	関係部局 市役所等
	② 特定健診・特定保健指導受診率向上対策					
	受診勧奨事業（特定健診）	強化	志木市国民健康保険特定健診等実施計画に基づき、特定健診の受診勧奨を未受診者に対して行う。また、受診者に健診の習慣をつけてもらうためにも継続受診の勧奨を行い、特定健診実施率の向上、並びに国民健康保険被保険者の健康増進を図ることを目的とする。	特定健康診査未受診者 特定保健指導未利用者	通知送付者の受診（利用）状況の確認	健康政策課 業者委託 市役所等
	連続受診向上事業		特定健診結果（3年連続検査値）をグラフ化した健診結果を示すことで、受診者の生活改善および連続受診の意識啓発を図る。	特定健康診査受診者	健診連続受診者数	健康政策課 市役所等
	国保セット健診		特定健診実施率の向上、並びに国民健康保険被保険者の健康増進を図ることを目的とし、集団健診を実施する中で、特定健診とがん検診をセットにし、自己負担額を軽減する。	40歳以上74歳までの国民健康保険被保険者	集団健診受診者数 FKAC131	健康政策課 市内
	4市特定健診等受診率向上キャンペーン		生活習慣病予防対策として実施している特定健康診査・特定保健指導・がん検診等について、朝霞地区4市という身近なエリアで一体となって幅広くPR活動を行うことにより、市民の健診受診への意識を高め、受診率を向上させる。	市民	イベント来場者数	朝霞地区四市 朝霞地区四市
	③ がん検診受診率向上対策					
	受診勧奨事業（がん検診）	強化	各種がん検診の受診勧奨を未受診者に対して行う。また、受診者に検診の習慣をつけてもらうためにも継続受診の勧奨を行い、がん検診実施率の向上、並びに市民の健康増進を図ることを目的とする。	市民	がん検診受診者数	健康政策課 業者委託 市役所等
	国保セット健診（再掲）		特定健診実施率の向上、並びに国民健康保険被保険者の健康増進を図ることを目的とし、集団健診を実施する中で、特定健診とがん検診をセットにし、自己負担額を軽減する。	市民	集団健診受診者数	健康政策課 市内
	4市特定健診等受診率向上キャンペーン（再掲）		生活習慣病予防対策として実施している特定健康診査・特定保健指導・がん検診等について、朝霞地区4市という身近なエリアで一体となって幅広くPR活動を行うことにより、市民の健診受診への意識を高め、受診率を向上させる。	市民	イベント来場者数	朝霞地区四市 —
	2 生活習慣の改善	① 生活習慣病予防対策				
特定保健指導		強化	内臓型肥満に着目し、その要因となっている生活習慣を改善するための指導を行うことで、生活習慣病予防準備を減少させる。	特定保健指導対象者	◆法定報告値 ◆次年度の特定健診の結果	健康政策課 業者委託 —
おいしく減塩！ 「減らソルト」プロジェクト事業		新規	市民の健康寿命の延伸を目的に、新たに「減塩」をキーワードとした健康づくり事業を全庁的に実施する。産官民学の連携を図り、効果的かつ継続的に事業を展開する。	市民	◆国保加入者 血圧の測定値（基準値を上回る人の割合を国・県と比較） ◆事業参加者数	子ども家庭課 学校教育課 健康増進センター 健康政策課 長寿局課 —
健康寿命のばしマッスル事業			健康ポイント制度を導入し、無関心層の参加を促すとともに、参加者のライフスタイルや体力に合わせ、筋力アップトレーニングや有酸素運動を市内全域で取り組む。	40歳以上の市民	ポイント事業参加者 健診受診ポイント	健康政策課 健康増進センター —

第2期データヘルス計画							目標	
平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	中間 見直し	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	アウトプット	アウトカム
◆既存体制の検証 ◆連携体制の調整	◆新たな実施体制のスタート	◆定期的な協議と連絡体制の確保	目標達成度の確認				連携会議の開催5回	—
◆特定健康診査受診勧奨 ◆イベントでの啓発 ◆広報							年3回実施	受診勧奨した人の受診率増加
◆今年度受診者へ結果および啓発冊子を送付							受診者全員	3年連続受診者の割合50%
◆集団検診の実施 ◆健診PR							受診者数の増加	受診率の増加
◆特定健診・特定保健指導・がん検診のPR ◆啓発物資の提供 ◆開催和光市	◆開催新座市	◆開催朝霞市		◆開催志木市	◆開催和光市	◆開催新座市	年1回実施	受診率の増加
◆がん検診受診勧奨 ◆イベントでの啓発 ◆広報							年3回実施	受診勧奨した人の受診率増加
◆集団検診の実施 ◆健診PR							受診者全員	受診率の増加
◆特定健診・特定保健指導・がん検診のPR ◆啓発物資の提供							年1回実施	受診率の増加
◆対象者への通知、勧奨、体制の整備 ◆保健指導の実施							法定報告値の終了率	次年度特定健診結果の改善
◆減塩の必要性を市民に周知（啓発グッズの作成・配布） ◆保育園・学校での減塩給食の実施 ◆子育て支援センターでの食事講座 ◆学校の給食試食会での減塩教育 ◆減塩に関する事業の実施 ◆集団健診時に推定摂取塩分量検査を実施 ◆民間企業との連携による普及活動 ◆公共施設7か所に血圧計の設置 ◆みぞ汁塩分チェックキャンペーンの実施		◆減らソルトフェスタの開催 ◆減塩の必要性を市民に周知（啓発グッズの作成・配布） ◆保育園・学校での減塩給食の実施 ◆子育て支援センターでの食事講座 ◆学校の給食試食会での減塩教育 ◆減塩に関する事業の実施 ◆集団健診時に推定摂取塩分量検査を実施 ◆民間企業との連携による普及活動 ◆公共施設7か所に血圧計の設置 ◆みぞ汁塩分チェックキャンペーンの実施			◆減塩の必要性を市民に周知（啓発グッズの作成・配布） ◆保育園・学校での減塩給食の実施 ◆子育て支援センターでの食事講座 ◆学校の給食試食会での減塩教育 ◆減塩に関する事業の実施 ◆集団健診時に推定摂取塩分量検査を実施 ◆民間企業との連携による普及活動 ◆公共施設7か所に血圧計の設置 ◆みぞ汁塩分チェックキャンペーンの実施		事業参加者数	◆国保加入者 血圧の測定値（基準値を上回る人の割合を国・県と比較） ◆国保のレセプト件数における循環器疾患の割合の減少
◆500人追加 うち国保200人 目標3,000人	目標3,500人	目標4,000人		目標4,500人	目標5,000人	目標5,500人	参加者数 毎年国保200人増 健（検）診受診ポイント付与人数	医療費削減効果の増大



第2期データヘルス計画							目標	
平成30年度	平成31年度	平成32年度	中間見直し	平成33年度	平成34年度	平成35年度	アウトプット	アウトカム
◆情報提供者数60人	情報提供者70人	情報提供者75人		情報提供者80人	情報提供者85人	情報提供者90人	情報提供者数 90人	特定健診受診率の向上
◆健康step up講座の実施 ◆出前講座の実施							参加者数	講座実施時のアンケート (生活習慣を変えてみようと思っただ人の割合を増やす)
◆みんなの食生活講座の実施 ◆地元の野菜を食べよう！事業の実施							参加者数	講座実施時のアンケート (主食・主菜・副菜をそろえて食べることを心掛けている人の割合を増やす)
◆相談窓口の周知を図る ◆個別相談の実施							利用者数	相談者数を増やす
◆未受診者・治療中断者への電話・通知による受診勧奨 ◆保健指導の実施							①医療機関への受診者数 ②保健指導参加者数	保健指導参加者の血液検査結果の改善
◆対象者の抽出 ◆運動教室の実施							参加者の身体データ 参加者アンケート	参加者の生活習慣病リスクの改善
◆参加者アンケート ◆AUDIT ◆健診結果							参加者数のUP	◆AUDITの平均値が減少 ◆参加者の節酒率50%以上
◆年1～2回実施 ◆保健師・看護師の訪問相談							対象者の80%訪問実施	医療費の推移
◆実態把握の実施 ◆普及啓発事業の実施	喫煙者への啓発を図る普及啓発事業の実施	普及啓発事業の実施					イベントでの普及啓発の実施回数	COPD発症者の減少
◆他機関と連携し普及・啓発をすすめる。 ◆後発医薬品利用差額通知書の発送 ◆啓発物資の配布							後発医薬品への切り替えに効果が見込まれる人へ個別の利用差額通知の発送を継続	ジェネリック医薬品利用率県平均以上
◆各介護予防事業の企画・実施・評価							事業実施数、事業参加者数	事業参加者の改善率の向上
◆①～③の実施・評価 ①身体機能向上 ②栄養改善 ③口腔機能向上							事業参加者数、修了者数	事業参加者の改善率の向上
◆住民体験会の実施、サポーター養成講座の実施、現地支援実施							通いの場増加数、支援実施数、参加者数、サポーター養成講座実施数と修了者数	通いの場参加者の改善率の向上
◆講演会（計測含む）							事業参加者数	◆下肢機能向上 ◆知識向上
◆相談窓口や制度の周知 ◆個別相談の実施 ◆相談支援者への研修 ◆関係機関の連携強化							利用者数	精神疾患に関する重複受診を減らす
◆ソーシャルクラブの実施 ◆就労支援							利用者数	定期的に利用できている人を増やす
◆相談窓口の周知 ◆グートキーパー養成講座の開催 ◆自殺予防教育の実施 ◆自殺予防キャンペーンの実施 ◆精神保健家族教室の開催							実施回数	自殺者数の減少

目標達成度の確認